Nikon

NIKKOR

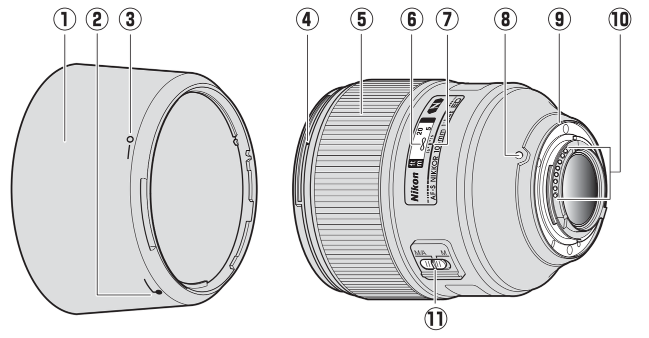
AF-S NIKKOR 105mm f/1.4E ED

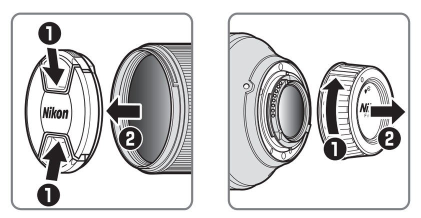
Jp 使用説明書
En User's Manual
Fr Manuel d'utilisation
Es Manual del usuario
Sc 使用说明书
Pb Manual do usuário
Kr 사용설명서

CE

Printed in Japan
SB6F01(7C)
7MA0397C-01

NIKON CORPORATION





日本語

ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、カメラの使用説明書もご覧ください。

- このレンズは、デジタル一眼レフカメラのD2シリーズ、D1シリーズ、D200、D100、D90、D80、D70シリーズ、D60、D50、D40シリーズ、D3000、およびフィルム一眼レフカメラには対応していません。

■ 安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。

⚠ **警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ **注意** 「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。

⃠ は、してはいけない内容です。

❗ は、実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

分解禁止 **分解、修理または改造をしない**
落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない
感電やけがの原因になります。

実行 **熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちにカメラの電源を取り外す**
放置すると、発火、やけどの原因になります。

禁止 **水でぬらさない**
ぬれた手で触らない
感電や発火の原因になります。

禁止 **引火、爆発のおそれのある場所では使わない**
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使うと、爆発や火災の原因になります。

禁止 **レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ない**
失明や視力障碍の原因になります。

禁止 **幼児の手の届くところに置かない**
故障やけがの原因になります。
小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。

禁止 **高温環境や低温環境では、直接触らない**
やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。

⚠ 注意

禁止 **レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない**
集光して、内部部品の破損や発火の原因になります。

禁止 **夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない**
故障や発火の原因になります。

■ 各部の名称

① フード
② フード取り付け指標
③ フードセット指標
④ フード着脱指標
⑤ フォーカスリング
⑥ 距離目盛
⑦ 距離目盛基準線
⑧ レンズ着脱指標
⑨ レンズマウントゴムリング
⑩ CPU信号接点
⑪ フォーカスモード切り換えスイッチ

■ ピント合わせの方法

撮影目的によって、下表のようなピント合わせが選択できます。

・カメラのフォーカスモードについては、カメラの使用説明書をご覧ください。

カメラのフォーカスモード	レンズのフォーカスモード	
	M/A	M
AF	マニュアル優先オートフォーカス	マニュアルフォーカス（フォーカスエイド可）
MF	マニュアルフォーカス（フォーカスエイド可）	

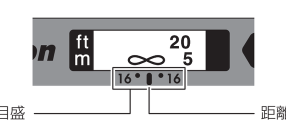
M/A(マニュアル優先オートフォーカスモード)の使い方

オートフォーカス撮影中にマニュアルフォーカスに切り換えることができます。

1. **レンズのフォーカスモード切り換えスイッチを[M/A]にセットする**
2. **オートフォーカス撮影時、カメラのシャッターボタンを半押ししたまま、あるいはカメラのAF-ON（AF作動）ボタンを保持したまま、フォーカスリングを手で回転させる**
   - 瞬時にマニュアルフォーカス撮影が行えます。
   - カメラのシャッターボタンを再度半押ししたり、カメラのAF-ON（AF作動）ボタンを再度操作するとオートフォーカスで撮影が可能となります。

■ 被写界深度

- 被写体の前後のピントが合う範囲（被写界深度）は、カメラのプレビュー（絞り込み）機能を使って確認できます。
- 距離目盛と距離目盛基準線の両側にある被写界深度目盛を使うと、おおよその被写界深度を知ることができます。
- 距離目盛は目安であり、被写体までの距離を保証するものではありません。また、遠景撮影でも被写界深度などの影響により∞マークに届かない位置でピントが合う場合があります。



被写界深度目盛　　距離目盛基準線

■ 絞り値の設定

絞り値は、カメラ側で設定してください。

■ カメラの内蔵フラッシュ使用時のご注意

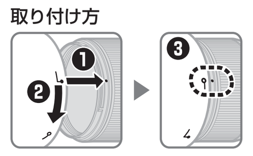
カメラの内蔵フラッシュをお使いのときは、ケラレを防止するためにレンズのフードは取り外して使用してください。

※カメラの内蔵フラッシュのケラレとは、フラッシュの光がレンズの先端でさえぎられて影になり、画像に写りこむ現象です。

■ フードの使い方

画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護にも役立ちます。

取り付け方



- フード着脱指標（●）とフード取り付け指標（⌐）を合わせて（❶）、フードを矢印（❷）の方向に回転させ、フード着脱指標とフードセット指標（—O）を合わせてください（❸）。

- フード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フード取り付け指標（⌐）付近を持って回転させてください。
- フードが正しく取り付けられないと画像にケラレが生じますのでご注意ください。
- 収納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。着脱の際は、フードセット指標（—O）付近を持って回転させてください。

■ レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

- レンズをカメラから取り外すと、絞りが開放状態になります。レンズ内部を保護するために、レンズキャップを取り付けるか、太陽光のあたらない所に保管してください。
- フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。
- CPU信号接点は汚さないようにご注意ください。
- レンズマウントゴムリングが破損した場合は、そのまま使用せず販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- レンズ面を清掃する場合、通常はホコリを払う程度にしてください。
- 最前面と最後面のレンズの表面はフッ素コート加工されています。乾いた布で軽く拭くだけで、汚れを取り除くことができます。表面に指紋がついたときは、柔らかい清潔な木綿の布または市販のレンズクリーニングペーパーでレンズの中心から外周へ渦巻き状に、拭きムラ、拭き残りがないように注意して拭いてください。汚れがひどい場合は、柔らかい布を少量の真水、無水アルコール（エタノール）、または市販のレンズクリーナーで湿らせ、軽く拭いてください。フッ素コート加工されたレンズ面は、撥水性、撥油性が高いため、水滴状の拭き残りが生じることがあります。その場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐためには、ニュートラルカラーNC（フィルター）をお使いいただけます。また、レンズのフードも役立ちます。
- レンズをケースに入れるときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。
- レンズを水にぬらすと、部品がサビつくなどして故障の原因となりますのでご注意ください。
- ストーブの前など、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。
- 極端に温度差のある場所に急にレンズを持ち込むと、レンズ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。レンズをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。

■ 付属アクセサリー

- 82mm スプリング式レンズキャップ LC-82
- 裏ぶた LF-4
- バヨネットフード HB-79
- レンズケース CL-1218

■ 使用できるアクセサリー

- 82mm ネジ込み式フィルター

■ 仕様

型式	ニコンFマウントCPU内蔵Eタイプ、AF-Sレンズ
焦点距離	105mm
最大口径比	1：1.4
レンズ構成	9群14枚（EDレンズ3枚、ナノクリスタルコートあり、フッ素コートあり）
画角	23°10′（FXフォーマットのデジタル一眼レフカメラ） 15°20′（DXフォーマットのデジタル一眼レフカメラ）
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ピント合わせ	IF（ニコン内焦）方式、超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能
撮影距離目盛	∞〜1.0m
最短撮影距離	撮像面から1.0m
絞り羽根枚数	9枚（円形絞り）
絞り方式	電磁絞りによる自動絞り
絞りの範囲	f/1.4—16
測光方式	開放測光
アタッチメントサイズ	82mm（P=0.75mm）
寸法	約94.5mm（最大径）× 106mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで）
質量	約985g

※ 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

■ ニコンプラザのご案内

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。お客さまのデジタルイメージングの世界を拡げ、写真文化の普及、向上に資するよう目指しています。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。

ニコンプラザ銀座
〒104-0061　東京都中央区銀座7-10-1　ストラータ ギンザ1・2階
営業時間：10:30〜18:30（年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日）

ニコンプラザ新宿
〒163-1528　東京都新宿区西新宿1-6-1　新宿エルタワー28階
営業時間：10:30〜18:30（年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日）

ニコンプラザ名古屋
〒461-0005　名古屋市東区東桜1-13-3　NHK名古屋放送センタービル2階
営業時間：10:30〜18:30（日曜日、祝日、年末年始を除く毎日）

ニコンプラザ大阪
〒530-0001　大阪市北区梅田2-2-2　ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー13階
営業時間：10:30〜18:30（年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日）

ニコンプラザショールーム（銀座・新宿・名古屋・大阪）ナビダイヤル
0570-02-8080

ニコンプラザサービスセンター（銀座・新宿・名古屋・大阪）ナビダイヤル
0570-02-8060

音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577（ニコンカスタマーサポートセンター）におかけください。

English

Before using this product, please carefully read both these instructions and the camera manual.

Note: This lens does not support D2- or D1-series, D200, D100, D90, D80, D70-series, D60, D50, D40-series, or D3000 digital SLR cameras or film SLR cameras.

■ For Your Safety

To prevent damage to property or injury to yourself or to others, read "For Your Safety" in its entirety before using this product.

Keep these safety instructions where all those who use this product will read them.

⚠ **WARNING:** Failure to observe the precautions marked with this icon could result in death or severe injury.

⚠ **CAUTION:** Failure to observe the precautions marked with this icon could result in injury or property damage.

⚠ WARNING

- **Do not disassemble or modify this product.**
  Do not touch internal parts that become exposed as the result of a fall or other accident.
  Failure to observe these precautions could result in electric shock or other injury.
- **Should you notice any abnormalities such as the product producing smoke, heat, or unusual odors, immediately disconnect the camera power source.**
  Continued operation could result in fire, burns or other injury.
- **Keep dry.**
  Do not handle with wet hands.
  Failure to observe these precautions could result in fire or electric shock.
- **Do not use this product in the presence of flammable dust or gas such as propane, gasoline or aerosols.**
  Failure to observe this precaution could result in explosion or fire.
- **Do not directly view the sun or other bright light source through the lens or camera.**
  Failure to observe this precaution could result in visual impairment.
- **Keep this product out of reach of children.**
  Failure to observe this precaution could result in injury or product malfunction. In addition, note that small parts constitute a choking hazard. Should a child swallow any part of this product, seek immediate medical attention.
- **Do not handle with bare hands in locations exposed to extremely high or low temperatures.**
  Failure to observe this precaution could result in burns or frostbite.

⚠ CAUTION

- **Do not leave the lens pointed at the sun or other strong light sources.**
  Light focused by the lens is a source of fire and damage to the product's internal parts.
- **Do not leave the product where it will be exposed to extremely high temperatures, for an extended period such as in an enclosed automobile or in direct sunlight.**
  Failure to observe this precaution could result in fire or product malfunction.

■ Notice for Customers in Canada

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

■ Parts of the Lens

① Lens hood
② Lens hood alignment mark
③ Lens hood lock mark
④ Lens hood mounting mark
⑤ Focus ring
⑥ Focus distance indicator
⑦ Focus distance mark
⑧ Lens mounting mark
⑨ Rubber lens-mount gasket
⑩ CPU contacts
⑪ Focus-mode switch

■ Focus

Supported focus modes are shown in the following table (for information on camera focus modes, see the camera manual).

Camera focus mode	Lens focus mode	
	M/A	M
AF	Autofocus with manual override	Manual focus with electronic rangefinder
MF	Manual focus with electronic rangefinder	

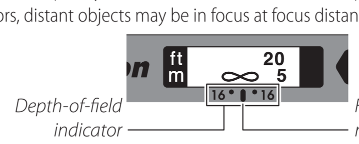
M/A (Autofocus with Manual Override)

To focus using autofocus with manual override (M/A):

1. Slide the lens focus-mode switch to M/A.
2. Focus.
   If desired, autofocus can be over-ridden by rotating the lens focus ring while the shutter-release button is pressed halfway (or, if the camera is equipped with an **AF-ON** button, while the **AF-ON** button is pressed). To refocus using autofocus, press the shutter-release button halfway or press the **AF-ON** button again.

■ Depth of Field

Depth of field can be previewed using the camera's depth-of-field preview feature. A rough approximation is also provided by the focus distance indicator and by the depth-of-field indicator to either side of the focus distance mark, but note that these distances are intended as a guide only and may not be completely accurate. Due to the effects of depth of field and other factors, distant objects may be in focus at focus distances under ∞.



Depth-of-field indicator　*Focus distance mark*

■ Aperture

Aperture is adjusted using camera controls.

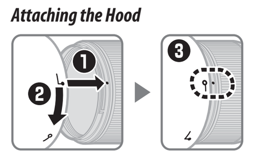
■ Built-in Flash Units

When using the built-in flash on cameras equipped with a built-in flash unit, remove the lens hood to prevent vignetting (shadows created where the end of the lens obscures the built-in flash).

■ The Lens Hood

The lens hoods protect the lens and block stray light that would otherwise cause flare or ghosting.

Attaching the Hood



Align the lens hood mounting mark (●) with the lens hood alignment mark (⌐) and then rotate the hood (❷) until the ● mark is aligned with the lens hood lock mark (—O).

When attaching or removing the hood, hold it near the ⌐ symbol on its base and avoid gripping it too tightly. Vignetting may occur if the hood is not correctly attached. The hood can be reversed and mounted on the lens when not in use. When the hood is reversed, it can be attached and removed by rotating it while holding it near the lock mark (—O).

■ Lens Care

- The lens returns to maximum aperture when removed from the camera. To protect the interior of the lens, store it out of direct sunlight or replace the lens caps.
- Do not pick up or hold the lens or camera using only the lens hood.
- Keep the CPU contacts clean.
- Should the rubber lens-mount gasket be damaged, cease use immediately and take the lens to a Nikon-authorized service center for repair.
- Removing dust is normally sufficient to clean the glass surfaces of the lens.
- The fluorine-coated front and rear elements can be cleaned simply by wiping them with a dry cloth. Smudges and fingerprints can be removed using a soft, clean cotton cloth or lens cleaning tissue; clean from the center outwards using a circular motion, taking care not to leave smears or touch the glass surface with your fingers. To remove stubborn stains, wipe gently using a soft cloth dampened with a small amount of distilled water, ethanol, or lens cleaner. Drop-shaped stains on the water- and oil-repellent fluorine-coated elements can be removed with a dry cloth.
- Never use organic solvents such as paint thinner or benzene to clean the lens.
- The lens hood or Neutral Color (NC) filters can be used to protect the front lens element.
- Attach the front and rear caps before placing the lens in its lens case.
- If the lens will not be used for an extended period, store it in a cool, dry location to prevent mold and rust. Do not store in direct sunlight or with naphtha or camphor moth balls.
- Keep the lens dry. Rusting of the internal mechanism can cause irreparable damage.
- Leaving the lens in extremely hot locations could damage or warp parts made from reinforced plastic.
- Rapid changes in temperature may cause damaging condensation inside and outside the lens. Before taking the lens from a warm to a cold environment or vice versa, place it in its case or a plastic bag to slow the change in temperature.

■ Supplied Accessories

- LC-82 82 mm snap-on Front Lens Cap
- LF-4 Rear Lens Cap
- HB-79 Bayonet Hood
- CL-1218 Lens Case

■ Compatible Accessories

- 82 mm screw-on filters

■ Specifications

Type	Type E AF-S lens with built-in CPU and F mount
Focal length	105 mm
Maximum aperture	f/1.4
Lens construction	14 elements in 9 groups (including 3 ED lens elements and lens elements with Nano-Crystal or fluorine coatings)
Angle of view	• Nikon FX-format D-SLR cameras: 23° 10′ • Nikon DX-format D-SLR cameras: 15° 20′
Distance information	Output to camera
Focusing	Nikon **I**nternal **F**ocusing (IF) System with autofocus controlled by Silent Wave Motor and separate focus ring for manual focus
Focus distance indicator	1.0 m to infinity (∞)
Minimum focus distance	1.0 m (3.3ft) from focal plane
Diaphragm blades	9 (rounded diaphragm opening)
Diaphragm	Automatic electronic aperture control
Aperture range	f/1.4 – 16
Metering	Full aperture
Filter-attachment size	82 mm (P = 0.75 mm)
Dimensions	Approx. 94.5 mm maximum diameter × 106 mm (distance from camera lens mount flange)
Weight	Approx. 985 g (2 lb 2.8 oz)

Nikon reserves the right to change the appearance, specifications, and performance of this product at any time and without prior notice.

Français

Avant de l'utiliser, veuillez lire attentivement ces instructions et le manuel de l'appareil photo.

Remarque : cet objectif n'est pas compatible avec les reflex argentiques ou avec les reflex numériques de gamme D2, gamme D1, D200, D100, D90, D80, gamme D70, D60, D50, gamme D40 ou D3000.

■ Pour votre sécurité

Afin d'éviter de provoquer des dommages matériels ou de vous blesser ou de blesser un tiers, lisez intégralement « Pour votre sécurité » avant d'utiliser ce produit.

Conservez ces consignes de sécurité dans un endroit facilement accessible à tous ceux qui pourraient se servir de ce produit.

⚠ **AVERTISSEMENT :** le non-respect des consignes indiquées par cette icône peut vous exposer à un danger de mort ou à de graves blessures.

⚠ **ATTENTION :** le non-respect des consignes indiquées par cette icône peut vous exposer à des blessures ou provoquer des dommages matériels.

⚠ AVERTISSEMENT

- **Ne démontez pas ou ne modifiez pas ce produit.**
  Ne touchez pas les composants internes qui sont exposés suite à une chute ou à un autre accident.
  Le non-respect de ces consignes peut provoquer un choc électrique ou d'autres blessures.
- **Si vous observez des anomalies provenant du produit comme de la fumée, de la chaleur ou des odeurs inhabituelles, débranchez immédiatement la source d'alimentation de l'appareil photo.**
  Continuer d'utiliser le matériel risque de provoquer un incendie, des brûlures ou d'autres blessures.
- **Gardez votre matériel au sec.**
  Ne le manipulez pas avec les mains mouillées.
  Le non-respect de ces consignes de sécurité peut provoquer un incendie ou un choc électrique.
- **N'utilisez pas ce produit en présence de poussières ou de gaz inflammables comme du propane, de l'essence ou des aérosols.**
  Le non-respect de cette consigne peut provoquer une explosion ou un incendie.
- **N'observez pas directement le soleil ou autre source lumineuse puissante à travers l'objectif ou l'appareil photo.**
  Le non-respect de cette consigne peut provoquer des troubles visuels.
- **Conservez ce produit hors de portée des enfants.**
  Le non-respect de cette consigne peut provoquer des blessures ou le dysfonctionnement du produit. En outre, notez que les petites pièces présentent un risque d'étouffement. Si jamais un enfant avalait une pièce de ce produit, consultez immédiatement un médecin.
- **Ne manipulez pas le matériel à mains nues dans des lieux exposés à des températures extrêmement basses ou élevées.**
  Le non-respect de cette consigne peut provoquer des brûlures ou des engelures.

⚠ ATTENTION

- **Ne pointez pas l'objectif en direction du soleil ou d'autres sources très lumineuses.**
  La lumière focalisée par l'objectif est une source d'incendie et peut endommager les composants internes du produit.
- **Ne laissez pas le produit exposé à des températures excessivement chaudes pendant une période prolongée, comme dans une voiture fermée ou en plein soleil.**
  Le non-respect de cette consigne peut provoquer un incendie ou le dysfonctionnement du produit.

■ Avis pour les Clients au Canada

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

■ Parties de l'objectif

① Parasoleil
② Repère d'alignement du parasoleil
③ Repère de verrouillage du parasoleil
④ Repère de montage du parasoleil
⑤ Bague de mise au point
⑥ Indicateur de distance de mise au point
⑦ Repère de distance de mise au point
⑧ Repère de montage de l'objectif
⑨ Joint en caoutchouc de la monture d'objectif
⑩ Contacts du microprocesseur
⑪ Commutateur du mode de mise au point

■ Mise au point

Les modes de mise au point pris en charge sont indiqués dans le tableau suivant (pour en savoir plus sur les modes de mise au point de l'appareil photo, consultez le manuel de ce dernier).

Mode de mise au point de l'appareil photo	Mode de mise au point de l'objectif	
	M/A	M
AF	Autofocus à priorité manuelle	Mise au point manuelle avec télémètre électronique
MF	Mise au point manuelle avec télémètre électronique	

M/A (Autofocus à priorité manuelle)

Pour faire la mise au point en utilisant l'autofocus à priorité manuelle (M/A) :

1. Positionnez le commutateur du mode de mise au point de l'objectif sur M/A.
2. Effectuez la mise au point.
   Si vous le souhaitez, vous pouvez désactiver l'autofocus en pivotant la bague de mise au point de l'objectif avec le déclencheur appuyé à mi-course (ou avec la commande **AF-ON** appuyée, si l'appareil photo est pourvu d'une commande **AF-ON**). Pour refaire la mise au point avec l'autofocus, appuyez à mi-course sur le déclencheur ou appuyez de nouveau sur la commande **AF-ON**.

■ Profondeur de champ

Vous pouvez avoir un aperçu de la profondeur de champ à l'aide de la fonction d'aperçu de la profondeur de champ de l'appareil photo. Une approximation est également donnée par l'indicateur de distance de mise au point et par l'indicateur de profondeur de champ, situés de part et d'autre du repère de la distance de mise au point. Notez cependant que ces distances ne sont qu'indicatives et peuvent ne pas être très précises. En raison des effets de la profondeur de champ et d'autres facteurs, les objets éloignés peuvent être nets à des distances de mise au point inférieures à ∞.

Indicateur de profondeur de champ　*Repère de distance de mise au point*

■ Ouverture

Pour régler l'ouverture, utilisez les commandes de l'appareil photo.

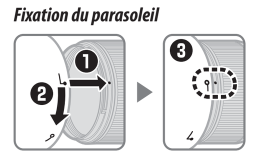
■ Flash intégré

Lorsque vous utilisez le flash intégré d'un appareil photo qui en est équipé, retirez le parasoleil pour éviter le vignettage (ombres créées là où l'extrémité de l'objectif occulte le flash intégré).

■ Parasoleil

Le parasoleil protège l'objectif et bloque la lumière diffuse pouvant causer de la lumière parasite ou une image fantôme.

Fixation du parasoleil



Alignez le repère de montage du parasoleil (●) sur le repère d'alignement du parasoleil (⌐), puis tournez le parasoleil (❷) jusqu'à ce que le repère ● soit aligné sur le repère de verrouillage du parasoleil (—O).

Lors de la fixation ou du retrait du parasoleil, tenez-le près du symbole ⌐ sur sa base, et évitez de le serrer trop fermement. Un vignettage peut se produire si le parasoleil n'est pas correctement attaché. Le parasoleil peut être retourné et monté sur l'objectif lorsqu'il n'est pas utilisé. Lorsque le parasoleil est retourné, vous pouvez le fixer ou le retirer en le faisant pivoter tout en le tenant au niveau du repère de verrouillage (—O).

■ Entretien de l'objectif

- L'objectif retrouve son ouverture maximale après avoir été retiré de l'appareil photo. Pour protéger l'intérieur de l'objectif, rangez-le à l'abri de la lumière directe du soleil ou remettez en place ses bouchons.
- Ne prenez pas ou ne tenez pas l'objectif ou l'appareil photo en saisissant uniquement le parasoleil.
- Maintenez les contacts du microprocesseur propres.
- Si le joint en caoutchouc de la monture d'objectif est endommagé, cessez immédiatement l'utilisation et confiez l'objectif à un centre Nikon agréé pour le faire réparer.
- Normalement, enlever la poussière suffit pour nettoyer les surfaces en verre de l'objectif.
- Les lentilles avant et arrière, traitées au fluor, peuvent être nettoyées simplement avec un chiffon sec. Les taches et les traces de doigt peuvent être effacées avec un tissu propre et doux en coton ou une lingette nettoyante pour objectif ; nettoyez avec un mouvement circulaire à partir du centre vers l'extérieur, tout en prenant soin de ne pas laisser de traces, ni de toucher le verre avec les doigts. Pour retirer les taches tenaces, essuyez délicatement avec un chiffon doux et imbibé d'une petite quantité d'eau distillée, d'éthanol ou de nettoyant pour objectif. Les taches en forme de goutte présentes sur les lentilles traitées au fluor (hydrofuges et oléofuges) peuvent être retirées avec un chiffon sec.
- N'utilisez jamais de solvants organiques comme un diluant à peinture ou du benzène pour nettoyer l'objectif.
- Le parasoleil d'objectif ou les filtres neutres (NC) permettent de protéger la lentille avant.
- Fixez les bouchons avant et arrière avant de placer l'objectif dans son étui.
- Si vous n'avez pas l'intention d'utiliser l'objectif pendant une période prolongée, rangez-le dans un endroit frais et sec pour éviter la moisissure et la rouille. Ne pas ranger à la lumière directe du soleil ou avec des boules antimites de naphtaline ou de camphre.
- Tenez l'objectif au sec. La formation de rouille sur le mécanisme interne peut causer des dégâts irréparables.
- Laisser l'objectif dans des endroits extrêmement chauds peut endommager ou déformer les éléments composés de plastique renforcé.
- Les changements brusques de température peuvent être à l'origine d'une condensation préjudiciable à l'intérieur et à l'extérieur de l'objectif. Avant de faire passer l'objectif d'un environnement chaud à froid ou vice versa, rangez-le dans son étui ou dans un sac plastique pour ralentir le changement de température.

■ Accessoires fournis

- LC-82 Bouchon avant d'objectif encliquetable 82 mm
- LF-4 Bouchon arrière d'objectif
- HB-79 Parasoleil à baïonnette
- CL-1218 Étui pour objectif

■ Accessoires compatibles

- Filtres à visser 82 mm

■ Caractéristiques

Type	Objectif AF-S de type E avec microprocesseur intégré et monture F
Focale	105 mm
Ouverture maximale	f/1.4
Construction optique	14 lentilles en 9 groupes (dont 3 lentilles en verre ED et des lentilles bénéficiant d'un traitement nanocristal ou au fluor)
Angle de champ	• Reflex numériques Nikon de format FX : 23° 10′ • Reflex numériques Nikon de format DX : 15° 20′
Information de distance	Communiquée au boîtier de l'appareil photo
Mise au point	Système de mise au point interne de Nikon (IF, **I**nternal **F**ocusing) avec autofocus commandé par un moteur ondulatoire silencieux (SWM) et bague de mise au point pour mise au point manuelle
Indicateur de distance de mise au point	1,0 m à l'infini (∞)
Distance minimale de mise au point	1,0 m depuis le plan focal
Lamelles de diaphragme	9 (diaphragme circulaire)
Diaphragme	Contrôle automatique et électronique de l'ouverture
Plage des ouvertures	f/1.4 – 16
Mesure	Pleine ouverture
Diamètre de fixation pour filtre	82 mm (P = 0,75 mm)
Dimensions	Environ 94,5 mm de diamètre maximum × 106 mm (distance à partir du plan d'appui de la monture d'objectif de l'appareil photo)
Poids	Environ 985 g

Nikon se réserve le droit de modifier à tout moment l'apparence, les caractéristiques et les performances de ce produit sans avis préalable.

Español

Antes de utilizar este producto, lea detenidamente tanto estas instrucciones como el manual de la cámara.

Nota: Este objetivo no es compatible con las cámaras SLR digitales de la serie D2 o D1, D200, D100, D90, D80, serie D70, D60, D50, serie D40 o D3000 ni con las cámaras SLR de película.

■ Por su seguridad

Para evitar daños materiales, sufrir lesiones o lesionar a terceros, lea completamente "Por su seguridad" antes de usar este producto.

Guarde estas instrucciones de seguridad en un lugar en el que todos los que usen el producto puedan leerlas.

⚠ **ADVERTENCIA:** No respetar las precauciones marcadas con este icono puede causar lesiones graves o mortales.

⚠ **PRECAUCIÓN:** No respetar las precauciones marcadas con este icono puede causar lesiones o daños materiales.

⚠ ADVERTENCIA

- **No desmonte ni modifique este producto.**
  No toque las piezas internas que puedan quedar expuestas como resultado de una caída u otro accidente.
  No respetar estas precauciones puede causar descargas eléctricas u otras lesiones.
- **Si nota anomalías en el producto, como por ejemplo la emisión de humo, calor u olores inusuales, desconecte inmediatamente la fuente de alimentación de la cámara.**
  Continuar usando el producto podría causar incendios, quemaduras u otras lesiones.
- **Mantener seco.**
  No manipular con las manos mojadas.
  No respetar estas precauciones puede causar incendios o descargas eléctricas.
- **No use este producto en presencia de polvo o gas inflamable, como por ejemplo propano, gasolina o aerosoles.**
  No respetar esta precaución puede causar explosiones o incendios.
- **No mire directamente al sol u otra fuente de luz brillante a través del objetivo o la cámara.**
  No respetar esta precaución puede causar discapacidad visual.
- **Mantenga este producto alejado de los niños.**
  No respetar esta precaución puede causar lesiones o funcionamientos incorrectos del producto. Además, tenga en cuenta que las piezas pequeñas pueden presentar riesgos de asfixia. Si un niño ingiere cualquier pieza de este producto, solicite asistencia médica inmediatamente.
- **No manipular con las manos descubiertas en zonas expuestas a temperaturas extremadamente altas o bajas.**
  No respetar esta precaución puede causar quemaduras o congelación.

⚠ PRECAUCIÓN

- **No deje el objetivo apuntando hacia el sol ni hacia otras fuentes de luz intensa.**
  La luz enfocada a través del objetivo puede causar incendios y daños a las piezas internas del producto.
- **No deje el producto en zonas expuestas a temperaturas extremadamente altas durante largos periodos, como por ejemplo, en el interior de un vehículo cerrado o en contacto directo con la luz del sol.**
  No respetar esta precaución puede causar incendios o funcionamientos incorrectos del producto.

■ Aviso para los Clientes de Canadá

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

■ Partes del objetivo

① Parasol de objetivo
② Marca de alineación del parasol
③ Marca de bloqueo del parasol
④ Marca de montaje del parasol
⑤ Anillo de enfoque
⑥ Indicador de distancia de enfoque
⑦ Marca de distancia de enfoque
⑧ Marca de montaje del objetivo
⑨ Junta de goma de montaje del objetivo
⑩ Contactos de CPU
⑪ Interruptor de modo de enfoque

■ Enfoque

Los modos de enfoque compatibles se muestran en la siguiente tabla (para más información sobre los modos de enfoque de la cámara, consulte el manual de la cámara).

Modo de enfoque de la cámara	Modo de enfoque del objetivo	
	M/A	M
AF	Autofoco con anulación manual	Enfoque manual con telémetro electrónico
MF	Enfoque manual con telémetro electrónico	

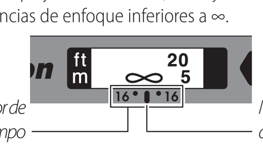
M/A (Autofoco con anulación manual)

Para enfocar usando la función de autofoco con anulación manual (M/A):

1. Deslice el interruptor de modo de enfoque hacia M/A.
2. Enfoque.
   Si lo desea, el autofoco puede ser controlado manualmente girando el anillo de enfoque del objetivo mientras pulsa el disparador hasta la mitad (o, si la cámara está equipada con un botón **AF-ON**, cuando se pulse el botón **AF-ON**). Para volver a enfocar usando el autofoco, pulse el disparador hasta la mitad o pulse nuevamente el botón **AF-ON**.

■ Profundidad de campo

Podrá previsualizar la profundidad de campo usando la función de vista previa de la profundidad de campo de la cámara. También proporcionan una aproximación el indicador de distancia de enfoque y el indicador de profundidad de campo en cada lado de la marca de distancia de enfoque, sin embargo, tenga en cuenta que estas distancias son solamente una guía y podrían no ser completamente precisas. Debido a los efectos de la profundidad de campo y a otros factores, los objetos distantes podrían estar enfocados a distancias de enfoque inferiores a ∞.



Indicador de profundidad de campo　*Marca de distancia de enfoque*

■ Diafragma

El diafragma se ajusta usando los controles de la cámara.

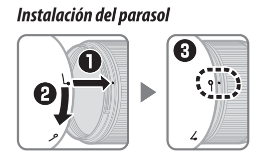
■ Flashes incorporados

Al usar el flash incorporado en cámaras equipadas con un flash incorporado, retire el parasol del objetivo para evitar viñeteado (sombras creadas en las que el extremo del objetivo oscurece el flash incorporado).

■ Parasol del objetivo

El parasol protege al objetivo y bloquea la luz directa que podría ocasionar destello o fantasma.

Instalación del parasol



Aliene la marca de montaje del parasol (●) con la marca de alineación del parasol (⌐) y, a continuación, gire el parasol (❷) hasta que la marca ● esté alineada con la marca de bloqueo del parasol (—O).

Al montar o quitar el parasol, sujételo cerca del símbolo ⌐ sobre su base y evite apretarlo demasiado fuerte. El viñeteado puede presentarse si el parasol no está instalado correctamente. El parasol se puede invertir y montar sobre el objetivo cuando no esté en uso. Al invertir el parasol, podrá instalarlo y desinstalarlo girándolo mientras lo sujeta cerca de la marca de bloqueo (—O).

■ Cuidado del objetivo

- El objetivo regresa al diafragma máximo al extraerlo de la cámara. Para proteger el interior del objetivo, guárdelo fuera del alcance de la luz solar directa o vuelva a colocar las tapas del objetivo.
- No recoja o sujete el objetivo o la cámara usando solamente el parasol de objetivo.
- Mantenga los contactos de CPU limpios.
- Si se daña la junta de goma de montaje del objetivo, deje de usarlo inmediatamente y lleve el objetivo al servicio técnico autorizado de Nikon para repararlo.
- Retirar el polvo es, por norma general, suficiente para limpiar las superficies de cristal del objetivo.
- Los elementos delantero y trasero con revestimiento de flúor pueden limpiarse simplemente con un paño seco. Puede eliminar las manchas y huellas dactilares usando un paño de algodón suave y limpio o un pañuelo de papel de limpieza para objetivos y limpie del centro hacia afuera usando movimientos circulares, teniendo cuidado de no dejar manchas ni de tocar el cristal con sus dedos. Para quitar las manchas más difíciles, limpie suavemente con un paño suave humedecido con una pequeña cantidad de agua destilada, etanol o limpiador de objetivos. Las manchas en forma de gota en los elementos con revestimiento de flúor repelentes al agua y al aceite se pueden quitar con un paño seco.
- Nunca use solventes orgánicos como el disolvente de pintura o benceno para limpiar el objetivo.
- El parasol o los filtros Neutral Color (NC) pueden utilizarse para proteger el elemento delantero del objetivo.
- Coloque las tapas delantera y posterior antes de colocar el objetivo en su estuche del objetivo.
- Si el objetivo no se va a usar durante un periodo prolongado de tiempo, guárdelo en un lugar frío y seco para evitar la formación de moho y corrosión. No lo guarde a la luz solar directa o con bolas para polilla de alcanfor o de naftalina.
- Mantenga el objetivo seco. La oxidación del mecanismo interno puede ocasionar daños irreparables.
- Dejar el objetivo en lugares extremadamente calientes podría averiar o deformar las piezas hechas de plástico reforzado.
- Los cambios rápidos de temperatura podrían provocar condensación dañina dentro y fuera del objetivo. Antes de transportar el objetivo de un entorno cálido a uno frío o viceversa, colóquelo en su estuche o en una bolsa de plástico para atenuar el cambio de temperatura.

■ Accesorios suministrados

- LC-82 Tapa frontal a presión del objetivo de 82 mm
- LF-4 Tapa trasera del objetivo
- HB-79 Parasol de bayoneta
- CL-1218 Estuche del objetivo

■ Accesorios compatibles

- Filtros con rosca de 82 mm

■ Especificaciones

Tipo	Objetivo tipo E AF-S con CPU incorporado y montura F
Distancia focal	105 mm
Diafragma máximo	f/1.4
Construcción de objetivo	14 elementos en 9 grupos (incluyendo 3 elementos de objetivo ED y elementos de objetivo con revestimientos de flúor o nanocristal)
Ángulo de visión	• Cámaras D-SLR de formato FX Nikon: 23° 10′ • Cámaras D-SLR de formato DX Nikon: 15° 20′
Información de distancia	Salida a cámara
Enfoque	Nikon **I**nternal **F**ocusing (IF) System con autofoco controlado por Motor Silent Wave y anillo de enfoque independiente para el enfoque manual
Indicador de distancia de enfoque	1,0 m a infinito (∞)
Distancia de enfoque mínima	1,0 m (3,3 pies) desde el plano focal
Cuchillas del diafragma	9 (apertura de diafragma redondeada)
Diafragma	Control de diafragma electrónico automático
Alcance de diafragma	f/1.4 – 16
Medición	Apertura total
Tamaño de accesorio del filtro	82 mm (P = 0,75 mm)
Dimensiones	Aprox. 94,5 mm de diámetro máximo × 106 mm (distancia a partir de la pletina de montaje del objetivo)
Peso	Aprox. 985 g (2 lb 2,8 oz)

Nikon se reserva el derecho de cambiar el aspecto, las especificaciones y el rendimiento de este producto en cualquier momento y sin previo aviso.

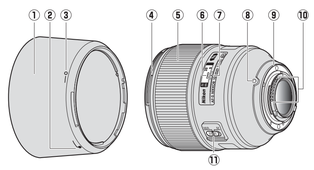
Nikon

NIKKOR

AF-S NIKKOR 105mm f/1.4E ED

Sc 使用说明书
Pb Manual do usuário
Kr 사용설명서
Jp 使用説明書
En User's Manual
Fr Manuel d'utilisation
Es Manual del usuario

NIKON CORPORATION



中文版（简体）

保留备用

使用产品前请仔细阅读本使用说明书。

在使用本产品前，请仔细阅读这些使用说明和照相机的说明书。

注意：本镜头不支持D2系列和D1系列、D200、D100、D90、D80、D70系列、D60、D50、D40系列以及D3000数码单镜反光照相机和胶卷单镜反光照相机。

■ 安全须知

为预防对您或他人造成人身伤害或财产损失，请在使用前仔细阅读“安全须知”，并以正确的方法使用。

请在阅读之后妥善保管本说明书，以便随时查阅。

⚠ 警告　表示“有可能造成人员死亡或负重伤的内容”。
⚠ 注意　表示“有可能造成人员负轻伤或财产损失的内容”。

本节使用以下图示和符号对必须遵守的内容作以分类。

⃠ 示不允许进行的行为。
❗ 表示必须进行的行为。

⚠ 警告

禁止拆解　切勿自行拆解、修理或改装。当产品由于跌落等原因而破损使得内部外露时，切勿触碰外露部分。
否则将导致触电或受伤。

执行　当发现产品变热、冒烟或发出焦味等异常时，请立刻切断照相机电源。
若放任不管，将导致起火或烫伤。

禁止　切勿使产品被水淋湿。切勿用湿手触碰产品。
否则将导致触电或起火。

禁止　切勿在有可能起火、爆炸的场所使用。
若在有丙烷气、汽油、可燃性喷雾剂等易燃性气体、粉尘的场所使用产品，将导致爆炸或火灾。

禁止　切勿使用镜头或照相机直接观看太阳或强光。
否则将导致失明或视觉损伤。

禁止　切勿在婴幼儿伸手可及之处进行保管。
否则将导致故障或受伤。若误吞细小部件，将会对身体造成伤害。万一意外吞入口中，请立即接受医生诊疗。

禁止　在高温环境或低温环境中，切勿直接接触产品。
否则将可能导致烫伤或冻伤。

⚠ 注意

禁止　切勿将镜头对着太阳或强光。
通过镜头聚焦的光线为火源，并且会对产品的内部零件造成损坏。

禁止　切勿放置于夏天封闭的车内或直射阳光下等高温环境中。
否则将导致故障或起火。

■ 镜头部件

① 镜头遮光罩
② 镜头遮光罩对齐标记
③ 镜头遮光罩锁定标记
④ 镜头遮光罩安装标记
⑤ 对焦环
⑥ 对焦距离指示
⑦ 对焦距离标记
⑧ 镜头安装标记
⑨ 镜头卡口橡胶垫圈
⑩ CPU接点
⑪ 对焦模式切换器

■ 对焦

所支持的对焦模式如下表所示（有关照相机对焦模式的信息，请参阅照相机使用说明书）。

照相机对焦模式	镜头对焦模式	
	M/A	M
AF	手动优先的自动对焦	带有电子测距仪的手动对焦
MF	带有电子测距仪的手动对焦	

M/A（手动优先的自动对焦）

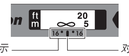
使用手动优先的自动对焦（M/A）进行对焦的步骤如下：

1 将镜头对焦模式切换器推至M/A。

2 对焦。
若有需要，您可在半按快门释放按钮期间（或者，若照相机配备有一个AF-ON按钮，则在按下AF-ON按钮期间）旋转镜头对焦环来使手动对焦优先于自动对焦。若要使用自动对焦以重新对焦，请再次半按快门释放按钮或再次按下AF-ON按钮。

■ 景深

使用照相机的景深预览功能可预览景深。对焦距离指示和位于对焦距离标记任意一边的景深指示也会提供一个粗略的近似值，但是请注意，这些距离仅供参考，可能并不完全准确。由于景深和其他因素的影响，远距离的物体在对焦距离∞以下时可能会清晰对焦。



景深指示　*对焦距离标记*

■ 光圈

请使用照相机控制调整光圈。

■ 内置闪光灯组件

当使用配备有一个内置闪光灯组件的照相机上的内置闪光灯时，请取下镜头遮光罩以避免产生渐晕（因镜头末端遮挡内置闪光灯光线所产生的阴影）。

■ 镜头遮光罩

镜头遮光罩可保护镜头并阻挡可能导致杂光或鬼影的散射光线。

安装遮光罩

将镜头遮光罩安装标记（●）与镜头遮光罩对齐标记（┖）对齐，然后旋转遮光罩（❷）直至●标记与镜头遮光罩锁定标记（—○）对齐。

安装或取下遮光罩时，请在其底部的 ┖ 标记附近将其握住，并避免握得太紧。若未正确安装好遮光罩，则可能会产生渐晕。不使用时，可将遮光罩反转并固定在镜头上。遮光罩被反转时，在锁定标记（—○）附近将其握住，然后通过旋转即可安装或取下遮光罩。

■ 镜头保养

- 镜头从照相机取下后会恢复至最大光圈。为保护镜头内部，请将其存放在没有阳光照射的地方，或者重新盖上镜头盖。
- 拿起或持握镜头或照相机时，切勿仅持拿镜头遮光罩。
- 保持CPU接点清洁。
- 若镜头卡口橡胶垫圈损坏，请立即停止使用并将镜头送至尼康授权的维修服务中心进行维修。
- 一般情况下，清洁镜头的玻璃表面时去除灰尘即可。
- 带有氟涂层的前部和后部镜片可使用干布进行清洁。污点和指纹可使用一块干净的软棉布或镜头清洁纸去除；清洁时以圆周运动方式从里向外擦拭，注意不要留下污渍，也不要用手指触碰玻璃表面。清除顽渍时，请使用一块沾有少许蒸馏水、乙醇或镜头清洁剂的软布轻轻擦拭。拒水、拒油的氟涂层组件上的滴状污渍可使用干布去除。
- 切勿使用涂料稀释剂或苯等有机溶剂清洁镜头。
- 镜头遮光罩或中性色彩（NC）滤镜可用于保护前部镜片。
- 将镜头放入镜头套之前，请盖好镜头前盖和镜头后盖。
- 若在较长时间内不使用镜头，请将其存放在阴凉干燥的地方以防止发霉和生锈。切不可存放在直射阳光下，也不可与石脑油或樟脑丸一起存放。
- 保持镜头干燥。内部构造生锈将导致无法挽回的损坏。
- 将镜头放置在过于炎热的地方将会使强化塑料部件受损或变形。
- 温度的突变可能导致镜头内外部结露以致损坏。将镜头从温暖的环境带入寒冷的环境或从寒冷的环境带入温暖的环境之前，请先将其置于镜头套或塑料袋中以缓和温度的变化。
- 运输产品时，请在包装箱内装入足够多的缓冲材料，以减少（避免）由于冲击导致产品损坏。

■ 随附配件

- LC-82 82 mm搭扣式镜头前盖
- LF-4镜头后盖
- HB-79卡口式镜头遮光罩
- CL-1218镜头套

■ 兼容的配件

- 82 mm旋入式滤镜

■ 技术规格

类型	带内置CPU和F卡口的E型AF-S镜头
焦距	105 mm
最大光圈	f/1.4
镜头结构	9组14片（包括3枚ED镜片以及带纳米结晶涂层或氟涂层的镜片）
视角	• 尼康FX格式数码单镜反光照相机：23°10′ • 尼康DX格式数码单镜反光照相机：15°20′
距离信息	输出到照相机
对焦	尼康内部对焦（IF）系统（可进行由宁静波动马达控制的自动对焦，具备用于手动对焦的独立对焦环）
对焦距离指示	1.0 m至无穷远（∞）
最近对焦距离	约1.0 m（至焦平面）
光圈叶片	9片（圆形光圈孔）
光圈	自动电子光圈控制
光圈范围	f/1.4–16
测光	全开光圈测光
滤镜附件尺寸	82 mm（P＝0.75 mm）
尺寸	约94.5 mm（最大直径）×106 mm（从照相机镜头卡口边缘开始的距离）
重量	约985 g

尼康公司保留可随时更改本产品的外观、技术规格和性能的权利。

进口商：尼康映像仪器销售（中国）有限公司
（上海市茂名南路205号瑞金大厦22楼，200020）
尼康客户支持中心服务热线：400-820-1665
（周一至周日9:00–18:00，除夕下午休息）
http://www.nikon.com.cn/

在日本印刷
出版日期：2016年6月1日

产品中有害物质的名称及含量

标志	部件名称	有害物质					
		铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
⑩	外壳	○	○	○	○	○	○
	机械元件	×	○	○	○	○	○
	光学元件	○	○	○	○	○	○
	电子元件	×	○	○	○	○	○

本表格依据SJ/T11364的规定编制。

○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T26572规定的限量要求以下。

×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T26572规定的限量要求。但是，以现有的技术条件要使照相机相关产品完全不含有上述有害物质极为困难，并且上述产品都包含在《关于电气电子设备中特定有含物质使用限制指令2011/65/EU》的豁免范围之内。

Português (Brasil)

Antes de usar este produto, leia cuidadosamente estas instruções e o manual de referência da câmera.
Nota: esta lente não é compatível com as câmeras SLR digitais séries D2 ou D1, D200, D100, D90, D80, série D70, D60, D50, série D40 ou D3000, ou câmeras SLR de película.

■ Para sua segurança

Para evitar danos à propriedade ou lesões, a você ou a terceiros, leia "Para sua segurança" em sua totalidade antes de usar este produto.

Mantenha estas instruções de segurança onde todos os que usem este produto as possam ler.

⚠ **AVISO:** A não observância das precauções marcadas com este ícone poderá resultar em morte ou lesões graves.
⚠ **CUIDADO:** A não observância das precauções marcadas com este ícone poderá resultar em lesões ou danos à propriedade.

⚠ AVISO

- **Não desmonte nem modifique este produto.**
  Não toque nas partes internas que fiquem expostas como resultado de uma queda ou outro acidente.
  A não observância destas precauções poderá resultar ou choque elétrico ou outras lesões.
- **Se notar quaisquer anormalidades como, por exemplo, o produto produzindo fumaça, calor ou odores estranhos, desconecte imediatamente a fonte de alimentação da câmera.**
  A continuação da operação poderá resultar em incêndio, queimaduras ou outras lesões.
- **Mantenha seco.**
  Não manuseie com as mãos molhadas.
  A não observância destas precauções poderá resultar em incêndio ou choque elétrico.
- **Não utilize este produto na presença de poeira ou gás inflamável, tal como propano, gasolina ou aerossóis.**
  A não observância desta precaução poderá resultar em explosão ou incêndio.
- **Não olhe diretamente para o sol ou para outra fonte de luz intensa através da lente ou da câmera.**
  A não observância desta precaução poderá resultar em incapacidade visual.
- **Mantenha este produto fora do alcance de crianças.**
  A não observância desta precaução poderá resultar em lesões ou mau funcionamento do produto. Além disso, note que as peças pequenas constituem um perigo de asfixia. Se uma criança engolir qualquer parte deste produto, procure imediatamente assistência médica.
- **Não manuseie com as mãos desprotegidas em locais expostos a temperaturas extremamente altas ou baixas.**
  A não observância desta precaução poderá resultar em queimaduras ou congelamento.

⚠ CUIDADO

- **Não deixe a lente apontada para o sol ou outras fontes de luz forte.**
  A luz focada pela lente é uma fonte de fogo e de danos às partes internas do produto.
- **Não deixe o produto em locais onde fique exposto a temperaturas extremamente altas, por um longo período, tais como num automóvel fechado ou sob a luz solar direta.**
  A não observância desta precaução pode resultar em incêndio ou mau funcionamento do produto.

■ Aviso para os Clientes no Canadá

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

■ Partes da lente

① Parassol da lente
② Marca de alinhamento do parassol da lente
③ Marca de trava do parassol da lente
④ Marca de fixação do parassol da lente
⑤ Anel de foco
⑥ Indicador de distância de foco
⑦ Marca de distância de foco
⑧ Marca de montagem da lente
⑨ Gaxeta de borracha de fixação da lente
⑩ Contatos CPU
⑪ Chave do modo de foco

■ Foco

Os modos de foco suportados são apresentados na tabela seguinte (para informação sobre os modos de foco da câmera, consulte o manual da câmera).

Modo de foco da câmera	Modo de foco da lente	
	M/A	M
AF	Foco automático com preferência para ajuste manual	Foco manual com telemetria eletrônica
MF	Foco manual com telemetria eletrônica	

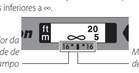
M/A (Foco automático com preferência para ajuste manual)
Para focar usando o foco automático com preferência para ajuste manual (M/A):

1 Deslize a chave do modo de foco da lente para M/A.

2 Foque.
Se desejado, o foco automático pode ser cancelado girando o anel de foco da lente enquanto o botão de liberação do obturador é pressionado até a metade (ou, se a câmera estiver equipada com um botão **AF-ON**, enquanto o botão **AF-ON** é pressionado). Para focar novamente usando o foco automático, pressione o botão de liberação do obturador até a metade ou pressione novamente o botão **AF-ON**.

■ Profundidade de campo

A profundidade de campo pode ser visualizada usando o recurso de pré-visualização da profundidade de campo da câmera. Uma estimativa aproximada também é fornecida pelo indicador de distância de foco e pelo indicador da profundidade de campo para ambos os lados da marca de distância de foco. Observe que essas distâncias servem apenas como guias e podem não ser totalmente precisas. Devido aos efeitos de profundidade de campo e outros fatores, os objetos distantes podem estar em foco a distâncias focais inferiores a ∞.



Indicador da profundidade de campo　*Marca de distância de foco*

■ Abertura

A abertura é ajustada usando os controles da câmera.

■ Unidades de flash embutidas

Quando usar o flash embutido em câmeras equipadas com uma unidade de flash embutida, retire o parassol da lente para evitar vinhetas (sombras criadas quando a extremidade da lente obscurece o flash embutido).

■ Parassol

O parassol protege a lente e bloqueia a luz difusa que de outra forma causaria refração ou fantasmas.

Acoplar o parassol

Alinhe a marca de fixação do parassol da lente (●) com a marca de alinhamento do parassol da lente (┖) e depois gire o parassol (❷) até a marca ● ficar alinhada com a marca de trava do parassol da lente (—○).

Ao acoplar ou remover o parassol, segure-o perto do símbolo ┖ na sua base e evite apertá-lo com força. Poderá ocorrer vinheta se o parassol não for corretamente acoplado. O parassol pode ser invertido e montado na lente quando não estiver em uso. Quando o parassol estiver invertido, pode ser colocado e removido girando-o, enquanto o segura perto da marca de trava (—○).

■ Cuidados com a lente

- A lente retorna para a abertura máxima quando removida da câmera. Para proteger o interior da lente, guarde-a afastada da luz solar direta ou recoloque as tampas da lente.
- Não levante ou segure a lente ou a câmera usando apenas o parassol da lente.
- Mantenha limpos os contatos CPU.
- Caso a gaxeta de borracha de fixação da lente seja danificada, interrompa imediatamente a utilização e leve a lente a uma assistência técnica autorizada Nikon para reparação.
- Remover o pó normalmente é suficiente para limpar as superfícies de vidro das lentes.
- Os elementos dianteiro e traseiro revestidos a flúor podem ser limpos simplesmente esfregando suavemente com um pano seco. As manchas e impressões digitais podem ser removidas usando um pano de algodão macio e limpo ou tecido de limpeza de lentes. Limpe do centro para fora num movimento circular, tomando cuidado para não deixar manchas ou tocar na superfície do vidro com os seus dedos. Para remover manchas persistentes, limpe cuidadosamente com um pano macio umedecido em uma pequena quantidade de água destilada, etanol ou produto de limpeza de lente. As manchas de água nos elementos revestidos de flúor com repelente de água e óleo podem ser removidas com um pano seco.
- Nunca use solventes orgânicos tais como tíner ou benzeno para limpar a lente.
- O parassol da lente ou filtros de cor neutra (NC) podem ser usados para proteger o elemento dianteiro da lente.
- Coloque as tampas frontal e traseira antes de colocar a lente no seu estojo de lente.
- Se a lente não vai ser usada por um longo período, guarde-a em um local fresco e seco para evitar mofo e ferrugem. Não guarde sob a luz solar direta nem com bolas de naftalina e de cânfora.
- Mantenha a lente seca. O enferrujamento do mecanismo interno pode causar danos irreparáveis.
- Deixar a lente em locais extremamente quentes pode danificar ou deformar partes feitas de plástico reforçado.
- Mudanças bruscas de temperatura podem causar condensação potencialmente danosa dentro e fora da lente. Antes de transportar a lente de um ambiente quente para um ambiente frio ou vice-versa, coloque-a no seu estojo ou em um saco plástico para retardar a mudança de temperatura.

■ Acessórios fornecidos

- LC-82 Tampa frontal de encaixe da lente com 82 mm
- LF-4 Tampa traseira da lente
- HB-79 Parassol de baioneta
- CL-1218 Estojo de lente

■ Acessórios compatíveis

- Filtros de rosca de 82 mm

■ Especificações

Tipo	Lente AF-S tipo E com CPU embutido e encaixe F
Distância focal	105 mm
Abertura máxima	f/1.4
Construção da lente	14 elementos em 9 grupos (incluindo 3 elementos de lente ED e elementos de lente com revestimento de nanocristais ou de flúor)
Ângulo de visão	• Câmeras Nikon D-SLR de formato FX: 23° 10′ • Câmeras Nikon D-SLR de formato DX: 15° 20′
Informação de distância	Saída para a câmera
Focagem	Sistema Internal Focusing (IF - Focagem Interna) da Nikon com foco automático controlado por Motor de Onda Silencioso (SWM) e anel de foco separado para foco manual
Indicador de distância de foco	1,0 m a infinito (∞)
Distância mínima de foco	1,0 m a partir do plano focal
Lâminas de diafragma	9 (abertura circular do diafragma)
Diafragma	Controle de abertura automático eletrônico
Faixa de abertura	f/1.4 – 16
Fotometria	Abertura total
Tamanho da rosca do filtro	82 mm (P = 0,75 mm)
Dimensões	Aprox. 94,5 mm de diâmetro máximo × 106 mm (distância do flange de montagem da lente da câmera)
Peso	Aprox. 985 g

A Nikon se reserva o direito de alterar a aparência, especificações e o desempenho deste produto, a qualquer momento e sem aviso prévio.

한국어

이 제품을 사용하기 전에 이 설명서와 카메라 설명서를 모두 주의 깊게 읽어주십시오.
주의: 이 렌즈는 D2 시리즈나 D1 시리즈, D200, D100, D90, D80, D70 시리즈, D60, D50, D40 시리즈 또는 D3000 디지털 SLR 카메라나 필름 SLR 카메라를 지원하지 않습니다.

■ 안전상의 주의

제품이 손상되거나 사용자나 타인이 상해를 입지 않도록 제품을 사용하기 전에 "안전상의 주의"에 나와 있는 모든 내용을 읽으십시오.

안전 지침은 모든 사용자가 읽을 수 있는 곳에 보관하십시오.

⚠ **경고: 이 아이콘이 표시된 주의사항을 지키지 않을 경우 사망이나 심각한 상해를 입을 수 있습니다.**
⚠ **주의: 이 아이콘이 표시된 주의사항을 지키지 않을 경우 상해를 입거나 제품이 손상될 수 있습니다.**

⚠ 경고

- **이 제품을 분해하거나 개조하지 마십시오.**
  떨어뜨리거나 다른 사고로 인해 노출된 내부를 만지지 마십시오.
  이 주의사항을 지키지 않으면 감전이나 다른 상해를 입을 수 있습니다.
- **제품에서 연기가 나거나 제품이 뜨겁거나 이상한 냄새가 나는 등 이상 징후가 발견되면 카메라 전원을 즉시 분리하십시오.**
  계속 사용할 경우 화재가 발생하거나 화상 또는 다른 상해를 입을 수 있습니다.
- **건조한 곳에 보관하십시오.**
  젖은 손으로 만지지 마십시오.
  이 주의사항을 지키지 않으면 화재가 발생하거나 감전될 수 있습니다.
- **프로판, 가솔린, 에어로졸과 같은 가연성 가스 또는 분진이 있을 경우에는 제품을 사용하지 마십시오.**
  이 주의사항을 지키지 않으면 폭발이나 화재가 발생할 수 있습니다.
- **렌즈나 카메라를 통해 태양이나 다른 밝은 광원을 직접 쳐다보지 마십시오.**
  이 주의사항을 지키지 않으면 시력이 손상될 수 있습니다.
- **어린이의 손이 닿지 않는 곳에 두십시오.**
  이 주의사항을 지키지 않으면 상해를 입거나 제품이 고장 날 수 있습니다.
  또한 작은 부품을 잘못 삼키면 질식될 위험이 있습니다. 어린이가 부품을 삼켰을 경우 즉시 응급 처치를 해야 합니다.
- **극고온이나 극저온 장소에서는 랜즈으로 만지지 마십시오.**
  이 주의사항을 지키지 않으면 화상이나 동상을 입을 수 있습니다.

⚠ 주의

- **렌즈를 태양이나 다른 강한 광원을 향하게 두지 마십시오.**
  렌즈를 통해 초점에 모인 빛 때문에 화재가 발생하거나 제품 내부가 손상될 수 있습니다.
- **밀폐된 자동차나 직사광선이 비치는 곳과 같이 온도가 매우 높은 장소에 장시간 제품을 노출하지 마십시오.**
  이 주의사항을 지키지 않으면 화재가 발생하거나 제품이 고장 날 수 있습니다.

■ 렌즈의 부품

① 렌즈 후드
② 렌즈 후드 정렬 마크
③ 렌즈 후드 잠금 마크
④ 렌즈 후드 장착 마크
⑤ 초점링
⑥ 초점 거리 표시
⑦ 초점 거리 마크
⑧ 렌즈 장착 마크
⑨ 렌즈 장착 고무 가스켓
⑩ CPU 접촉부
⑪ 초점 모드 스위치

■ 초점

지원되는 초점 모드는 다음 표에 기재되어 있습니다(카메라 초점 모드에 관한 내용은 카메라 설명서 참조).

카메라 초점 모드	렌즈 초점 모드	
	M/A	M
AF	자동 초점에서 수동 조절	초점 에이드를 사용한 수동 초점
MF	초점 에이드를 사용한 수동 초점	

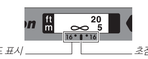
M/A(자동 초점에서 수동 조절)
자동 초점에서 수동 조절(M/A)을 사용하여 초점을 맞추려면:

1 **렌즈 초점 모드 스위치를 M/A로 설정합니다.**

2 **초점을 맞춥니다.**
원할 경우, 셔터 버튼을 반누름한 상태에서(또는, 카메라에 AF-ON 버튼이 있는 경우 AF-ON 버튼을 누른 상태에서) 렌즈 초점링을 돌려 자동 초점이 설정되지 않도록 할 수 있습니다. 자동 초점을 사용하여 다시 초점을 맞추려면 셔터 버튼을 반누름하거나 AF-ON 버튼을 다시 누릅니다.

■ 피사계 심도

카메라 피사계 심도 프리뷰 기능을 사용하여 피사계 심도를 미리 볼 수 있습니다. 초점 거리 표시와 심도 표시로 초점 거리 마크 양 측면까지의 대략적인 거리 값을 얻을 수도 있습니다. 그러나 해당 거리는 참고용이며 정확하지 않을 수 있습니다. 피사계 심도 효과와 다른 요인 때문에 멀리 떨어져 있는 물체는 ∞ 아래의 초점 거리에서 초점이 맞을 수 있습니다.



피사계 심도 표시　*초점 거리 마크*

■ 조리개

조리개는 카메라 컨트롤을 사용하여 조정합니다.

■ 내장 플래시

내장 플래시 장치가 장착된 카메라에서 내장 플래시를 사용할 때 비네팅(렌즈 끝이 내장 플래시를 희미하게 만들어 생기는 그림자)을 방지하려면 렌즈 후드를 제거하십시오.

■ 렌즈 후드

렌즈 후드는 렌즈를 보호하고 플레어 또는 고스트 현상을 초래할 우려가 있는 미광을 차단합니다.

후드 부착

렌즈 후드 장착 마크(●)를 렌즈 후드 정렬 마크(┖)와 일치시킨 다음 ● 마크가 렌즈 후드 잠금 마크(—○)와 일치될 때까지 후드(❷)를 돌립니다.

후드를 부착하거나 제거할 때는 밑 부분의 ┖ 기호 부근을 잡되 너무 꽉 쥐지 않도록 합니다. 후드가 올바르게 부착되지 않으면 비네팅이 생길 수 있습니다. 후드를 사용하지 않을 때는 렌즈에 거꾸로 장착할 수 있습니다. 후드를 뒤집은 경우 잠금 표시(—○) 부근에서 후드를 잡고 회전하여 탈부착할 수 있습니다.

■ 렌즈 관리

- 렌즈가 카메라에서 분리되면 최대 조리개로 돌아갑니다. 렌즈 내부를 보호하려면 직사광선이 비치지 않는 곳에 보관하거나 렌즈 캡을 교체합니다.
- 렌즈 후드로 렌즈 또는 카메라를 들어올리거나 잡지 마십시오.
- CPU 접촉부를 깨끗하게 유지하십시오.
- 렌즈 장착 고무 가스켓이 손상된 경우에는 즉시 사용을 중단하고 니콘 서비스 지정점에 렌즈 수리를 의뢰하여 주십시오.
- 일반적으로 렌즈의 유리면을 청소할 경우 먼지만 제거하면 됩니다.
- 불소 코팅된 전면과 후면 렌즈를 청소하려면 마른 천으로 닦아내기만 하면 됩니다. 부드럽고 깨끗한 면천이나 렌즈 페이퍼를 사용하여 얼룩과 손자국을 제거합니다. 바깥쪽으로 원을 그리며 닦아줍니다. 이때 얼룩이 남거나 유리에 손자국이 닿지 않도록 주의합니다. 잘 지워지지 않는 얼룩을 제거하려면 소량의 물, 알코올 또는 렌즈 클리너를 적신 부드러운 천으로 조심스럽게 닦아줍니다. 발수 및 발유 불소 코팅된 부분에 있는 물방울 모양 얼룩은 마른 천으로 제거할 수 있습니다.
- 청재료 페인트 시너나 벤젠과 같은 유기용제를 사용하여 렌즈를 닦지 마십시오.
- 전면 렌즈를 보호하기 위해 렌즈 후드 또는 뉴트럴 컬러 필터를 사용할 수 있습니다.
- 렌즈를 렌즈 케이스에 넣기 전에 앞뒤의 캡을 부착하십시오.
- 렌즈를 오랫동안 사용하지 않을 경우에는 곰팡이나 녹이 슬지 않도록 서늘하고 건조한 장소에 보관하십시오. 직사광선 아래나 나프탈나 좀약과 함께 보관하지 마십시오.
- 렌즈를 건조한 상태로 유지하십시오. 내부에 녹이 슬면 수리가 불가능한 손상을 입을 수 있습니다.
- 렌즈를 뜨거운 장소에 놓아두면 강화 플라스틱으로 만든 부품이 손상되거나 휠 수 있습니다.
- 급격한 온도 변화로 렌즈 내부와 외부를 손상하는 응결이 발생할 수 있습니다. 렌즈를 추운 곳에서 더운 곳으로, 또는 더운 곳에서 추운 곳으로 이동할 경우 급격한 온도 변화 때문에 렌즈가 손상되지 않도록 먼저 렌즈를 케이스나 비닐 봉지에 넣은 채 이동합니다.

■ 제공되는 액세서리

- LC-82 82 mm 스냅식 전면 렌즈 캡
- LF-4 렌즈 뒷 커버
- HB-79 Bayonet 후드
- CL-1218 렌즈 케이스

■ 호환 액세서리

- 82 mm 스크류식 필터

■ 사양

유형	내장 CPU와 F 마운트를 갖춘 E타입 AF-S 렌즈
초점 거리	105 mm
최대 조리개값	f/1.4
렌즈 구성	9군 14매(ED 렌즈 3매 및 나노크리스탈 또는 불소 코팅된 렌즈 포함)
화각	• Nikon FX 포맷 D-SLR 카메라: 23° 10′ • Nikon DX 포맷 D-SLR 카메라: 15° 20′
거리 정보	카메라로 출력
초점 조절	초음파 모터(Silent Wave Motor)로 조절되는 자동 초점과 수동 초점을 위한 별도의 초점링을 갖춘 Nikon IF (Internal Focusing) 시스템
초점 거리 표시	1.0 m 대 무한대(∞)
최단 초점 거리	촬상면에서부터 1.0 m
조리개 날	9매(원형 조리개)
조리개	자동 전자식 조리개 조절
조리개 범위	f/1.4 – 16
측광 방식	개방 조리개
필터 부착 크기	82 mm (P = 0.75 mm)
크기	최대 직경 약 94.5 mm×106 mm (카메라 렌즈 장착면에서의 거리)
무게	약 985 g

Nikon은 언제든지 예고 없이 제품의 외관, 사양, 성능을 변경할 수 있습니다.

© 2016 Nikon Corporation